



てご



やせい

藁細工用具

- ・わらすぐり
- ・わらうちづち
- ・わらじつくりだい
- ・わらぐつかた
- ・なわないき
- ・むしろばた
- ・たわらあみだい
- ・こもづち
- ・さんだわらあみだい
- ・おしきり
- ・わらきりき
- ・いね
- ・わら
- ・みご



よこづち



たてづち



たわらあみだい



なわないき



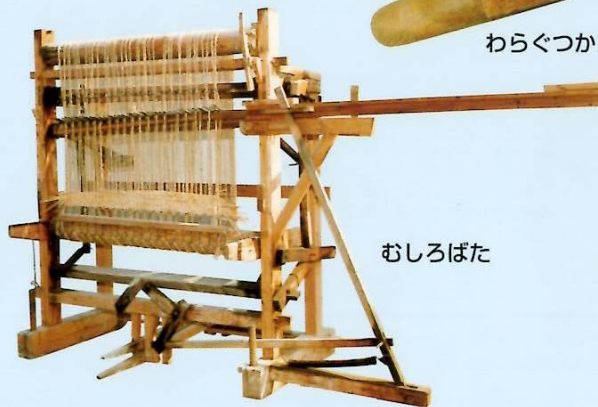
さんだわらあみだい



わらじつくりだい



わらぐつかた



むしろばた

【第103回企画展示】

くらしと藁の文化展

— 先人の知恵を訪ねて —

2階／酒田の歴史と民俗資料展



いわいぼんどり

祈る・祝う

- ・しめかざり
- ・ふくだわら
- ・たからぶね
- ・いわいさんだわら
- ・わらにんぎょう
- ・けんだん
- ・しよれいうま
- ・ひきづな
- ・はしかおくり
- ・なで



わら十二支



しめなわ



たからぶね



しよれいうま



わらにんぎょう



けんだん

開催期間 平成10年12月4日(金)～平成11年2月16日(火)
 開館時間 午前9時～午後4時30分
 休館日 毎週月曜日、12月29日～1月3日
 入館料 おとな 100円 児童・生徒 50円
 65歳以上の方と身体障害者の方は無料です。

酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL (0234)24-6544
 FAX (0234)24-6544

～ 開催にあたって ～

稲作農耕民族である日本人は、「ワラの文化」を作り上げそれを生活の隅々にまで浸透させてきた。衣生活では頭の上から足の先まで身体全体をワラで包み、また食生活、住生活、生産、運搬、遊戯などあらゆる生活場面で「ワラの文化」が見られた。

人々は、しめ縄・しめ飾りを張って神様を招き神仏への供物をワラ皿に入れ、盆にはワラ火を焚きワラ馬やワラ人形を作って死者の霊を送り迎えた。お祝いには祝いの品をワラ苞に入れて隣人や親戚に贈った。こうして、日本人は、ワラのなかに生まれワラのなかで育ち、ワラのなかで彼岸に送られ、そしてワラによって彼岸からこの地に迎えられた。われわれの暮らしにとって、ワラは欠くことのできない「日本文化の核」であった。人々は、大地の恵みによって得られたワラに必要な生活用具に作りかえ、寿命がきたとき果たしてくれた役割に感謝しつつ大地にかえしてきた。ワラをもとにした自然と人間との「巡りの世界」であった。「ワラ文化」のさまざまな知恵は地域の歴史や風土への優れた英知によって築かれてきたものであった。特に東北日本海地方には多くの優れたものがあるとされています。「ワラの文化」が、今や、近代化・工業化の波に押されてその姿を急速に消しつつあるとき、その果たしてきた意義を考え今日と明日の生活文化のあり方について考えて頂く機会になれば幸いです。

～ 展 示 目 録 ～

着る・履く

- ・みの
- ・みのぼうし
- ・てっけし
- ・わらじ
- ・わらぞうり
- ・あしなか
- ・ふかぐつ
- ・つつかけ
- ・たわらぐつ
- ・つまかけ
- ・はばき
- ・うまのわらじ



みの



みのぼうし



わらじ



せいろまる



なっとうと



べんけい



こめだわら

- ・おひつづめ
- ・せいろまる
- ・せいろしき
- ・わらつと
- ・べんけい
- ・なべしき
- ・わらたわし
- ・こめだわら
- ・かます

食べる・貯える



ゆきぐつ



ふかぐつ



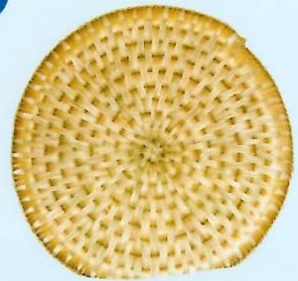
おひつづめ

住まう

- ・わらむしろ
- ・えんざ
- ・いづめ
- ・なで
- ・すすはらいぼう



いづめ



えんざ



わらむしろ



なで

働

- ・ばんどり
- ・やせうま
- ・もっこ
- ・てご
- ・になわ
- ・としいれ
- ・こな
- ・つな
- ・つなぎ



ねこばんどり



しとばんどり



ころばんどり



はねばんどり